

## 第四屆 臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會 「學究百花撩亂」

9



第四屆名古屋大學・臺灣大學研究生交流集會「學究百花撩亂」，於2017年6月17日在名古屋大學舉行。

2017年6月17日、名古屋大学にて名古屋大学・台湾大学第4回大学院生研究交流集会「学究の百花撩乱」が開催された。

開幕式的慣例由兩校研究中心執行長致詞。名古屋大學的藤木秀朗教授致詞中表示：「雖然是兩校每年例行的研究交流集會，但今年又有來自更多不同領域的研究發表聚集於此，想必此後將會更加需要將自己的研究用簡明易懂的方式向不同領域的研究者說明，能在此場合好好練習，實為可喜。」本中心的徐興慶教授則於致詞中表示：「本校和名古屋大學的學術交流頻率，在各交流協定校中乃首屈一指，尤其以研究生的發表為主要目的，和本中心目標之一的『培養年輕研究人才』相輔相成，十分感謝這難得的機會。」雙方皆對本研究會來到第四屆的進程表達彼此的喜悅與謝意。



▲中心主任徐興慶教授致詞

開催に先立ち、開会式では両校のセンター長より挨拶があった。名古屋大学の藤木秀朗教授は「毎年恒例になってきた両校の研究交流集会だが、今年は実にさまざまな分野の研究発表が集まっている。今後はわかりやすい言葉で専門外の人に自分の研究を説明することが求められてくると思うが、その練習にもなるのでいい機会だ」、本センターの徐興慶教授は「名古屋大学との学术交流は、他の協定校と比べて最もさかんだ。院生の研究発表がメインなので、本センターの「若手研究者の育成」という目標とのつながりもあり大変喜ばしい」と述べ、それぞれが4回目となる研究交流集会の開催に喜びと感謝の意を表した。

# 第4回 台湾大学・名古屋大学 大学院生研究交流集会 「学究の百花繚乱」

2017.06.17

10



兩校研究生（包含畢業生在內）分成四組進行發表，進行彼此交互詰問與意見交換，度過了充實的一天。

兩校の院生(卒業生含む)は4つのセッションに分かれて発表し、互いに質問をしたり意見交換したりするなど有意義な一日を過ごした。

閉幕式時由本中心林立萍教授進行閉幕謝詞：「今天聆聽各位新銳研究者發表的豐富內容，於我也是充分的良性刺激。期待今天各位提出的課題都將成為未來研究的領航」，為集會畫下句點。◆

最後の閉会式では、本センターの林立萍教授より「今日は若手研究者である皆さんの発表を聞いて、自分もとても刺激を受けた。今日の皆さんの発表が“未来の最先端の研究”になると期待している」との閉会の挨拶があった。◆

## 第四屆 臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會 議程

### 專題演講

發表者：徐興慶（台灣大學日本語文學系・教授 / 日本研究中心主任）

講題／テーマ：近世日中文化交流の断章

——『獨立性易全集』刊行までの史的考察



第四屆 臺灣大學・名古屋大學研究生論文發表會  
「學究百花撩亂」

11

Sessions ① 言 語

發表者：馬靜雯（名古屋大學大學院文學研究科博士課程後期課程）

講 題／テーマ：「和刻三言」における語気助詞の訓読について——「麼」を中心に

評論人／コメントーター：辻本雅史（台灣大學日本語文學系・教授 / 日本研究中心執行委員）

發表者：許妝莊（台灣大學日本語文學研究所碩士班）

講 題／テーマ：呂赫若の作品にみられる台湾語と中国語について

評論人／コメントーター：黃英哲（愛知大學現代中國學部・教授）

發表者：陳冠霖（大阪大學大學院言語文化研究科博士後期課程）

講 題／テーマ：台湾人日本語学習者のアクセント感——台湾在住学習者と大阪  
在住学習者の比較

評論人／コメントーター：宮地朝子（名古屋大學大學院人文學研究科・准教授）



Sessions ② 前近代

發表者：蔣薰誼（台灣大學政治學科研究所碩士班、現在東京大學交換留學中）

講 題／テーマ：清儒對《論語徵》接受與批判——以吳英《有竹石軒經句說》為中心

評論人／コメントーター：吉田純（名古屋大學大學院人文學研究科・教授）

發表者：金陀美（名古屋大學大學院文學研究科博士課程後期課程）

講 題／テーマ：春日明神託宣における明恵上人の夢

評論人／コメントーター：曹景恵（台灣大學日本語文學系・副教授 / 日本研究中心執行委員）



◀發表論文研究生合照

# 第4回 台湾大学・名古屋大学 大学院生研究交流集会 「学究の百花繚乱」

2017.06.17

12

## Sessions ③ 近代

発表者：加藤真生（名古屋大学大学院人文科学研究科博士課程前期課程）

講題／テーマ：日日清戦争におけるコレラ流行と防疫問題

評論人／コメンテーター：徐興慶（台湾大学日本語文学系・教授）

発表者：澤茂仁（名古屋大学大学院人文科学研究科博士課程後期課程）

講題／テーマ：「大写し」をめぐる映画経験——『島の女』（1920）と  
「ドツと笑う」見物人

評論人／コメンテーター：飯田祐子（名古屋大学大学院人文科学研究科・教授）

発表者：比根屋亮太（台湾大学政治学博士課程）

講題／テーマ：中华民国の沖縄帰属問題に対する態度の研究——1943年1972年を中心に

評論人／コメンテーター：池内敏（名古屋大学大学院人文科学研究科・教授）



## Sessions ④ ジェンダー

発表者：劉昱萱（京都大学大学院文学研究科研究所碩士班）

講題／テーマ：『伽婢子』の女性描写について

評論人／コメンテーター：阿部泰郎（名古屋大学大学院人文科学研究科・教授）

発表者：楊佳嘉（名古屋大学大学院人文科学研究科博士課程後期課程）

講題／テーマ：1920年代後半の日本女性知識人が見た中国——『女人芸術』を中心に

評論人／コメンテーター：星野幸代（名古屋大学大学院人文科学研究科・教授）

発表者：大江光子（名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士課程前期課程）

講題／テーマ：村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』における他者の関わり

評論人／コメンテーター：飯田祐子（名古屋大学大学院人文科学研究科・教授）